

NIPPONJIN NO WASUREMONO  
**日本人の忘れもの**  
 第2部 忘=筆 森清範 清水寺真主

**ジャパン**



**下出祐太郎**  
 下出時絵司3代目

座卓の上を擦らさぬように両手で持つ。美しい花鳥時絵のお椀を丁寧に口もとへ運ぶ。心づくしの温かい吸いものをしみじみ味わい、再び丁寧に器を置く。至福のひとつだ。

「われわれの祖先がうるしという塗料を見出し、それを塗った器物の色沢に愛着を覚えたことの偶然でないのを知るのである」。谷崎潤一郎の珠玉の随筆集『陰翳礼讃』にも漆器への称賛が記されている。

**時絵は日本が完成させた超絶技法である**

**大切なものを大切に扱う心が  
 自然の摂理に畏敬の念を  
 はらう文化を育んできた。**



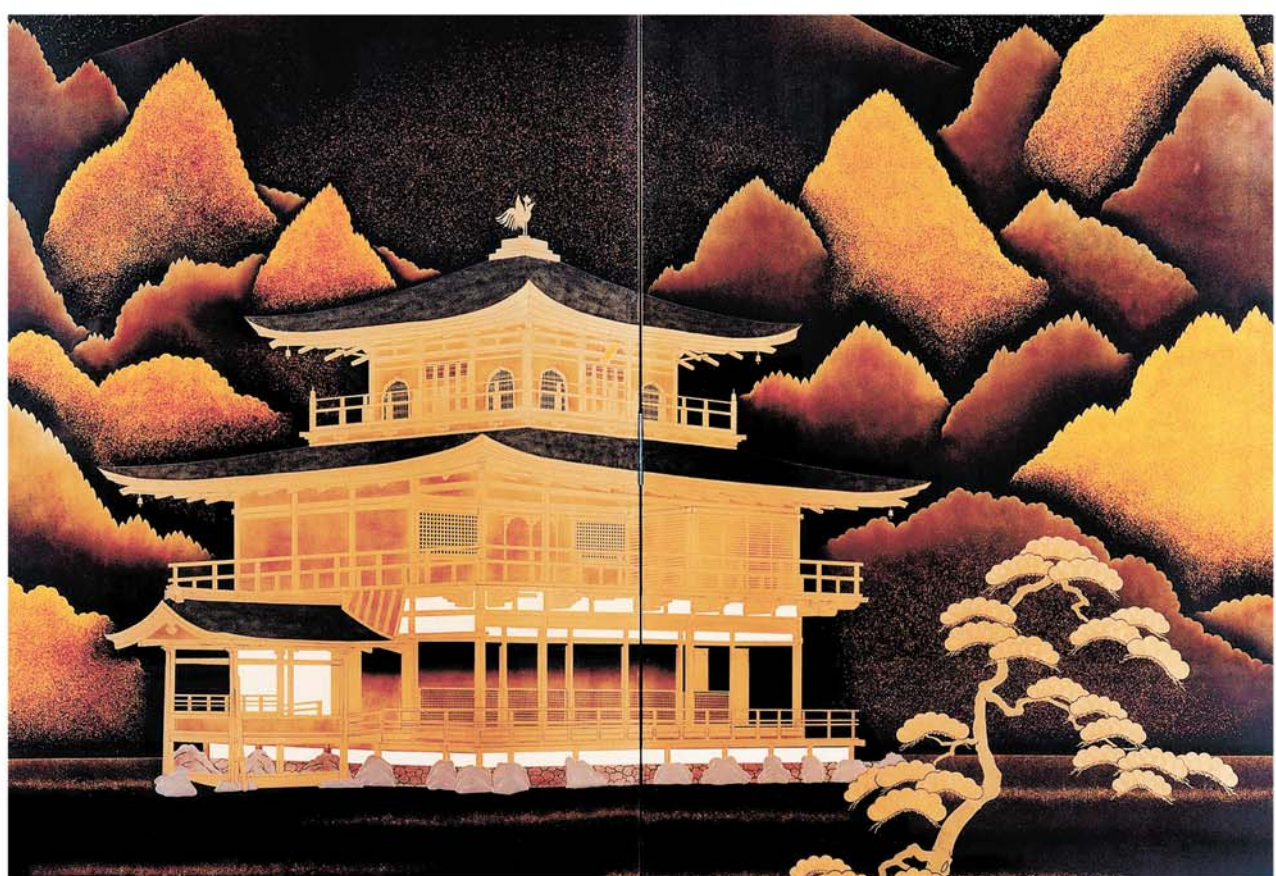
まず最初に、十分に乾燥させた天然木を、熟練の木工の挽物師が輓輓で薄くうすく成形する。

それから、割れやひずみがでなかつた木胎に、熟練の塗師が下地を施す。吸い口や糸底に麻布を糊漆で張る。割れや欠けを防ぎ丈夫にするためだ。上から地の粉と生漆を練った「錆」と砥の粉と生漆を練った「錆」を数回塗り、砥石で研ぎ形を整える。

さらに上塗り工程は、捨て中塗り、中塗り、上塗り。女性の髪の毛でできた刷毛で塗る。塗り工程だけでも40以上の工程を数える。

は普通に家庭の中で食器として使われてきた。大切なものを大切に扱うあり方や考え方は、家庭の中で自然と培われてきたのだ。器が人の一挙手一投足を考えさせる。おばあさんからお母さんへ、お母さんから子供たちへ。慈しんで、手渡すように。家庭で育まれてきたのは、扱い方だけではなかった。ひいては人やものを大切にしたいという思いが養われてきた。そんな思想が、茶道など極める道をも形成し、人を敬い、自然の摂理に畏敬の念をはらう文化を育んできたに違いない。私たちが自然の一部であり、やがてはこの世を辞さなければならぬ。そんな覚悟で生きる意味を知った。

奇跡のようなものづくりと、それを扱う精神性の高さ。これは日本の気候風土と国民性が生んだ比類のない宝物であった。忘れてはならないものを、しっかりと伝えていきたい。



時絵屏風「金閣寺」(著者作・京都府蔵)  
 時絵で使用する金粉は、形状と粗さにより約80種類ある。それぞれの形状と粗さにより加工技法が異なる。ほかに青金・銀・プラチナ等があり、数百の金属粉を使い分け表現する。

なお見逃せないのは、塗りが上がったお椀に熟練の時絵師が描く、吉祥文様など機知に富んだ意匠だ。時絵は、樹液という有機的な最たるものと、金という無機的な最たるものを融合させて、全く違った価値を生み出した日本が完成させた超絶技法である。

完成まで短いもので3カ月、凝った時絵が描かれるものは1年を要する。なんとというものづくりだろう。

**桃山時代の時絵はヨーロッパの王侯貴族魅了**

このものづくりは、ヨーロッパの人々を驚嘆させたことがある。

私が研究している桃山時代の時絵は、戦国時代によってきた宣教師たちを驚かせた。すぐさま自分たちのキリスト教用具を時絵で制作させているのだ。それがヨーロッパの本国にもたらされ、時絵は王侯貴族を魅了したのだ。東インド会社の交易により、漆器が「ジャパン」と呼ばれ、膨大な輸出漆器に繋がったことは周知の事実だ。マリーアントワネットのコレクションなど、ご存じの方も多いだろう。さて、時絵が付かないまでも、漆器



●しもで、ゆうたろう  
 1955年、京都市生まれ。下出時絵司3代目。学術博士(伝習工芸士、京都美術工芸大学校長、教授。京都工芸繊維大学教員、教育研究センター特任教授。即位の礼や大嘗祭の神祇調度時絵、第61回伊勢神宮式年遷宮御神時絵を手がける。京都迎賓館では水明の調度(器・漆器)の制作、後継者育成に力を注ぐ。一方、漆芸の研究、漆や文様の講演執筆活動にも取り組む。

戦後、日本人は物の豊かさと引き換えに大切なものを忘れてきたのではないだろうか。日本人が忘れつつある価値観が今も生き続けたら、京都から温故知新の知恵を発信する。(毎週日曜日に掲載)キヌ



**きょうの季節せ(七月)**  
 飯鮓の鱧なつかしき  
 都かな  
 其角

17日は、いよいよ祇園祭の山鉦巡行。その青山、鉦町の旧家では秘蔵の屏風が公開される。屏風祭と言われるゆえである。

祭鮓の称は、その時季に獲れるから。俗に鱧は梅雨の水を飲まないといふからなると言われている。

其角は江戸に居てこの鮓の味を懐かしむ。其角の師芭蕉は「京に居て京なつかしや時鳥」と詠む。(文・岩城久治)

**「きょうの心伝」募集**  
 ●あなたの思う「日本人の忘れもの」は何ですか?暮らしの中で忘れてはならないと思う日本人の心の系譜を、伝えたい京都に残る心遣いなどを寄せて下さい。京都新聞社で選考、添削する場合があります。原稿は返却いたしません。タイトル(12文字以内)と本文(400文字以内)、郵便番号、住所、氏名(匿名は不可)、職業、年齢、電話番号を明記し、〒604-8577 京都新聞COM「きょうの心伝」係まで。  
 E-mail: wasuremono@nhk.kyoto-np.co.jp  
 ●日本人の忘れものは、京都新聞ホームページ: [http://kyoto-np.jp/kyo\\_np/info/new/](http://kyoto-np.jp/kyo_np/info/new/)にて募集します。

**管理ではなく、「守り」を。**  
 包丁は刃物でなく、食生活を支える大事な食の道具です。

最近ではスーパーに出向けば、ほどよい大きさに切られた食材が豊富で、家庭で器に盛り付けるだけで料理は仕上がります。お母さんが毎日包丁を使って料理されている姿が、昔前に比べると少し減ってきたように感じます。台所では、身近であり丁寧な扱われなくなっている包丁の存在。昨今、包丁を使った凶悪事件が増えています。包丁がただの刃物になっている背景には、そんな事もある関係があるのでは?と心配です。ステンレス素材の包丁が多様化して、管理が簡単になっていますが、管理するのではなく「守り」をしていただきたいと思っています。

管理は自身の都合で世話する事でなく、「守り」は人やモノの立場になって見守る事です。食生活に感謝し、「守り」していれば、包丁は手に馴染む道具であり、子供たちにもその空気が伝われば、ただの刃物にはなりません!これも大切な食育です。

すぐに、期待以上のこと。Can Do!

人と、地球と、技術をつなぐ。

エコカーの本格的普及やクリーンエネルギー技術の進展。  
 そして、それらを包括するスマートグリッド構想など、新たな広がりを見せはじめた環境技術。  
 ニチコンは、「自動車・車両関連機器」「エコ関連機器」「デジタル家電機器」「情報通信機器」など、  
 最先端分野で不可欠なデバイスを提供するメーカーとして、  
 確かな品質と技術力で、地球にやさしい社会の実現を支えてまいります。

**LEAF to Homeシステム**  
**“EVパワーステーション”**

電気自動車と家庭をつなぐ**世界初**のV2Hシステム

※1 2012年5月当社調べ

**家庭用蓄電システム**

大容量 **7.2kWh**

※2 2012年5月当社調べ

**超小型急速充電器**

世界最小・最軽量

10kW・20kW・30kW・50kW品をラインアップ

※2 2012年5月当社調べ

**「創エネ」&「蓄エネ」型エネルギーマネジメントシステム**

山梨県米倉山メガソーラーPR施設「ゆめソーラー館やまなし」に設置

受賞

JECA FAIR2012 緑のコンクール (一社)日本電機工業協会 再生可能エネルギー賞

**機器を支える高機能デバイス**

- 導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ
- アルミ電解コンデンサ
- タンタル固体電解コンデンサ
- フィルムコンデンサ
- 電解二重層コンデンサ“EVerCAP®”
- 機能モジュール
- 正特性サーミスタ“ボジアル”
- 各種電源

For Automobiles-related Appliances  
 自動車・車両関連機器用

For Ecology-related Appliances  
 エコ関連機器用

**ニチコン株式会社**  
 京都市中京区烏丸通御池上 7-604-0845 TEL.075-231-8461 東京支店 TEL.03-5473-5611 名古屋支店 TEL.052-223-5581 西日本支店 TEL.075-241-5370

<http://www.nichicon.co.jp/>